

のとすするため、字別あるいは丁目に感染者数の発表をすべきだ。所見を伺う。

市長 当該感染症は基本的に感染者に接触する機会が多い人が通勤通学で、あるいは地域の学校、子どもを通じうつり広がるという性格のものであるため、ある特定の町で増えるということはないと認識している。また、感染者数を細かく公表していくと差別につながる可能性があるため、各字別の統計は現在考えていない。なお、統計の集約元である保健所でも字別の人数は公表していない。

議員 本市でも5月10日から高齢者のワクチン集団接種予約が電話とインターネットで開始されたが、接種予約当日の電話による予約は非常につながりにくく、インターネット環境のない高齢者は予約が取れない状況だった。高齢者がもっと予約しやすい方法はなかったのか。所見を伺う。

新型コロナウイルスワクチン接種特任部長 ワクチン接種の予約受け付けについてはコールセンターの体制を拡充するとともに臨時のコールセンターを設け対応した。窓口での予約も検討したが、混雑による感染のリスクを回避することが難しいことから実施は見送った。なお、市役所に来庁した人についてはブースを設け、インターネット予約の支援や相談対応を行った。

議員 現在、75歳以上の高齢者は約2万3千人で5月10日からの予約は8千100人分、5月19日からの予約は4千人分だった。両日合わせて1万2千人強だ。残り約1万人の接種はいつどのよう予約が実施されるのか。接種を受けられるのか。

新型コロナウイルスワクチン接種特任部長 本市ではワクチン接種を希望する高齢者が7月末までに2回の接種を完了できるように集団接種と個別接種の両面から拡充を図り、準備を進めてきた。今回、ワクチン接種に協力してもらえる病院・診療所が大幅に増え、現在、各診療所で予約を受け付けてもらえるよう調整している。かかりつけの診療所で予約する人も多くなるものと想定している。

議員 6月10日の集団接種の予約受け付けにおいては希望する65歳以上の全員が2回の接種を完了できる予約数を用意する予定だ。

議員 コミュニティ・センターは集団接種会場になっているが、井の頭コミュニティ・センター多目的室以外の5カ所のコミュニティ・センター体育館には空調設備が設置されていない。空調設備のないコミュニティ・センター体育館でのワクチン接種は熱中症等を考えたとき、安全に実施できるのか。所見を伺う。

新型コロナウイルスワクチン接種特任部長 コミュニティ・センターの体育館には大型の冷風機や扇風機を設置している。これらの運用状況を十分に確認しながら適切に対応していく。

議員 市内5カ所のコミュニティ・センター体育館と井の頭コミュニティ・センター多目的室は緊急事態宣言発令中以外は登録団体の利用が認められているが、個人利用部分は空いている状況だ。個人利用区分を団体利用区分へ変更しワクチン接種会場となったコミュニティ・センター体育館等の利用者にも利用しやすく

コロナ禍後の三鷹のために やるべきことを問う



令和山桜会 伊東 光則 議員



議員 新型コロナウイルス感染症は、いまだに全世界で未曾有の猛威を振るっている。現時点では命を守ることが最優先だが、コロナ禍後のことを考えると市の様々な取り組みを中断してはいけなく考える。昨年3月以降に本市が予定していた市民が参加する行事や会議は、中止や延期を余儀なくされたものが多かったと考える。市民意見を聴取するような行事や会議において、中止または延期に伴う影響はどのようなものだったのか伺う。

市長 昨年度は中止や延期となった会議等もあることから、市民意見の聴取において一定の影響があった点は否めないが、オンラインによる開催など手法を見直しながら会議等を実施し、影響が少なくなるように工夫をした。

議員 市政を進める上で、市民意見の聴取が難しくなっていることから事業の進捗にも影響が出てくると考える。コロナが収束するのを待つのではなく、多くの市民意見を聴取するための方法について研究してはどうか。所見を伺う。

第二副市長 現在準備を進めている新たな市民参加の取り組みの中で、デジタルコミュニケーションを大切にしようと考えている。こうした取り組みが、今後のコロナ禍後の新たな市民参加にもつながっていくのではないかと考えている。

議員 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、三鷹駅南口再開発及び市庁舎建て替えの進捗に影響があるものかと考える。所見を伺う。

議員 新型コロナウイルス感染症の影響は大きな課題である。再開は市政運営に当たって現在中心のテーマでもあり、市民生活がより活性化するためには欠くことのできないものと思っている。市民意識も冷えてきてきているので、適切な時期に再開の問題提起をしていく中で活性化を促したい。市庁舎建て替えについては、調査検討してきた経過の一定程度の結論を広報したところだ。

議員 コロナ禍が終わらないと具体的な流れは出てこないと考えますが、現在の進捗や、コロナが収束すればスムーズに進んでいくというような情報を市民に対して発信してはどうか。

都市再生部長 駅前再開発についてはコンセプトブックを作り、地権者へ説明し、ホームページ等にも公開している。今後、地権者から様々な意見をもらい、議論してもらおうことにもつながっていくと考えている。コロナ禍においてもできることを進めていき、市民にも理解してもらえようように努めたい。

議員 新型コロナウイルス感染症が収束しても、新たな危機が起る可能性は否定できない。今回のことから学んだことを、新たな危機に対しての備えに反映して、安全安心な三鷹にすべきだ。教訓をどのように考え、今後の市政運営につなげるのか所見を伺う。

市長 公衆衛生的な視点で都市を考えることの重要性がある。また、防災という

議員 新型コロナウイルス発生した際には速やかな対応ができるような体制づくりを求める。所見を伺う。

健康福祉部長 今後もコロナ禍は続いていくが、今回の教訓を生かして、感染症対策にとどまらず、防災等も含めて危機的な状況に対して市役所が一丸となり、関係機関ともしっかりと連携しながら、迅速に対応できるような体制が根付くような形で検証したい。

議員 コロナ禍の続く中で、テレワークが普及して、また、オンライン会議は利便性が高く、コロナ禍だけでなく今後もニーズが広がると考える。認可保育園は利便性が高く、コロナ禍だけでは支障していき。

議員 認可保育園における保育時間内の別料金による習い事については各園の実施状況と市の所見を伺う。

子ども政策調整担当部長 保育時間内の別料金による習い事は、現在、市内認可保育園では実施していない。認可保育園は全ての子どもに分け隔てなく質の高い教育・保育を行うという児童福祉の理念を尊重し、

議員 認可保育園における保育時間内の別料金による習い事は、現在、市内認可保育園では実施していない。認可保育園は全ての子どもに分け隔てなく質の高い教育・保育を行うという児童福祉の理念を尊重し、

議員 認可保育園における保育時間内の別料金による習い事は、現在、市内認可保育園では実施していない。認可保育園は全ての子どもに分け隔てなく質の高い教育・保育を行うという児童福祉の理念を尊重し、

議員 認可保育園における保育時間内の別料金による習い事は、現在、市内認可保育園では実施していない。認可保育園は全ての子どもに分け隔てなく質の高い教育・保育を行うという児童福祉の理念を尊重し、

議員 これまで、児童・生徒の荷物の軽量化について子どもの負担軽減等の観点から、より一層の配慮を求め、置き勉をしてもよい基準を全学校でしっかりと示すべきと指摘してきた。本年4月の新学期における各学校の取り組み状況を伺う。

教育部長 全ての学校で、各家庭に確実に伝わるよう、学校だより、児童・生徒への説明、保護者会での説明、ホームページへの掲載等により周知を行った。

議員 本件に関する今後の継続的な取り組みについて伺う。

教育部長 今後も児童・生徒に分かりやすく伝えるとともに、保護者への理解促進を継続的にやっていく。

議員 本年第一回定例会において、障がいのある無関係者も遊べるインクルーシブ公園について、都の支援を活用しユニバーサルデザインに配慮した遊具を積極的に設置し、整備す

議員 風水害の際、ペットと一緒に避難できるのか分からず避難の判断が遅れ悲しい事例が起らないよう、ホームページ等の説明はより丁寧な内容とし、平時から周知を強化すべきと考え。見解を伺う。

時代の変化に沿った 認可保育園の運営を



つなぐ三鷹の会 成田ちひろ 議員



議員 コロナ禍の続く中で、テレワークが普及して、また、オンライン会議は利便性が高く、コロナ禍だけでなく今後もニーズが広がると考える。認可保育園は利便性が高く、コロナ禍だけでは支障していき。

議員 認可保育園における保育時間内の別料金による習い事は、現在、市内認可保育園では実施していない。認可保育園は全ての子どもに分け隔てなく質の高い教育・保育を行うという児童福祉の理念を尊重し、

様々な立場の人々が安心して喜ぶ取り組みを



都民ファーストの会 山田さとみ 議員



議員 これまで、児童・生徒の荷物の軽量化について子どもの負担軽減等の観点から、より一層の配慮を求め、置き勉をしてもよい基準を全学校でしっかりと示すべきと指摘してきた。本年4月の新学期における各学校の取り組み状況を伺う。

議員 本件に関する今後の継続的な取り組みについて伺う。

議員 風水害の際、ペットと一緒に避難できるのか分からず避難の判断が遅れ悲しい事例が起らないよう、ホームページ等の説明はより丁寧な内容とし、平時から周知を強化すべきと考え。見解を伺う。

議員 風水害の際、ペットと一緒に避難できるのか分からず避難の判断が遅れ悲しい事例が起らないよう、ホームページ等の説明はより丁寧な内容とし、平時から周知を強化すべきと考え。見解を伺う。